

【報告者】	
【学年】 6年	【教科・単元名など】 社会「全国統一への動き」
【実践内容】 全国統一を目指した三人の武将について調べる ○ねらい 歴史学習は5年生までの社会科学学習と違い、身近な資料で調べたり体験を通して理解を深めたりすることができにくく、過去の出来事（だれが・いつ・どんなことをした、いつ・どんなことがあった等）を順番に追っていく学習になりがちである。また、塾等で知識が先行している児童もいる。そこで、人物に少しでも興味関心を持ち、学習を進めていくことができるのではないかと考え実践した。 ○学習の流れ ・「鳴かぬなら ○○○○○○○○ ほととぎす」この俳句の○○○○○○○○の部分は何という言葉が入るかを確認する（「殺してしまえ」「鳴かせてみせよう」「鳴くまで待とう」）。それぞれどんな性格か予想してから、作者を確認する。 ・三人の武将(信長・秀吉・家康)について調べる。 ・調べたことを発表しあって確認する。 ・それぞれの人物について感想をまとめる。 《感想例》 信長・・・戦い方がうまい たくさん戦いをした怖い印象 全国統一に必死だった 新しい政治はいい 世の中を新しくしようとした でも悪いことも 焼き討ちはひどい やっぱり殺してしまえの人 秀吉・・・よく考えついた 工夫の人 頭がいい 几帳面 しっかりしている 自分のためになることばかりしている 少し意地悪 強引 家康・・・9月に・・・	
【反省】 俳句から性格を予想して調べたことで、三人の武将をより身近に感じながら学習を進められた。予想した性格と実際に行ったこととをを比較して、「やっぱりな」という感想を持つ子もいた。中には、「自分が家来だったらこの人の下で働くのはいやだ」というように、自分のこととしてとらえる子もいた。 「なぜ過去のことを学習しなくてはいけないのか」と感じている子もいる中で、ほんの少しでも歴史学習に興味を持てるように、今後も工夫していきたい。	